

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

事業の特性で緑に触れる中で生じる木の再資源化(リサイクル)に取り組み、循環型社会にあった経営構築で再資源化によって化石燃料使用量の削減と脱炭素を推奨し、緑を最大限に活かした事業展開を目指し、周囲地域の環境と町づくりの一助となる。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	伐木・剪定くずの再資源化向上	処分量における再資源化率 2023年度55%→2026年度までに95%
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	緑地・環境保全の地域ボランティアへの参加 (災害時の倒木による処分の一部受け入れ)	2023年度1回→2026年度3回 (処分の受け入れ2027年度までに30%増)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	年齢・性別関係のない中途採用・職場体験の実施	中途採用人数 2023年度1名→2026年度4名

<パートナーシップ>

玉名市と防災協定を結び、消防団協力事務所として災害時の緊急体制を構築している。また、地域ボランティアを通して地域住民との連携を図り、信頼関係を築くことで持続可能な社会づくりに貢献している。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。